

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所
コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 孝志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部部长 (氏名) 早川 恵 (TEL) 048-798-0222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	388	—	△40	—	△29	—	△26	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △24百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△2.77	—
2025年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社グループは、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年3月期第1四半期	2,937		1,503		51.1
2025年3月期	3,052		1,584		51.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,501百万円 2025年3月期 1,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,800	—	150	—	150	—	100	11.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社グループは、2025年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率の記載はしておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	10,045,544株	2025年3月期	10,045,544株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	632,203株	2025年3月期	632,155株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	9,413,374株	2025年3月期1Q	8,785,370株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	8
3. 補足事項	9
(1) 売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、2025年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間の比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績は堅調に推移した一方、物価の上昇、為替相場の変動など、予断を許さない状況にあります。世界経済においては、トランプ政権の誕生により、関税の引き上げや米中摩擦が激化するなど、不確実性が増加しています。加えて、原油価格等樹脂原材料の高止まり、国際紛争の長期化などを背景にコスト上昇圧力が継続しています。

プラスチック加工業界は、企業業績が不安定な中、設備投資に慎重な姿勢が見られます。当社のプラスチック成形機は、お客様の設備投資そのものですので、成形機市場は投資意欲に左右されます。市場としては楽観視できない状況ですが、その中で当社が成長するためには、省エネルギー、省力化省人化、高機能機種などの開発を進め、受注を拡大していくことが必要です。

当社グループは、2024年12月27日に株式会社クラウドサービスを子会社化し、2025年3月期第3四半期より連結決算を開始しておりますが、前連結会計年度は単一の事業セグメントの売上高が、すべての事業セグメントの売上高の合計額の90%を超えるため記載を省略しておりました。当第1四半期連結累計期間よりそれぞれの報告セグメントの量的重要性が増したため、報告セグメントを「プラスチック成形機事業」及び「システム開発事業」に変更しております。

このような状況下、プラスチック成形機事業につきましては、客先設備投資の影響を受け、売上高はインフレーション成形機事業、ブロー成形機事業、リサイクル装置事業全体で低迷しました。メンテナンス事業は、顧客の既存成形機のメンテナンス、オーバーホール等の工事が順調に推移し、予定どおりに売上計上が進みました。システム開発事業は、当初の予定通りの売上計上となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3億8千8百万円、利益面につきましては、営業損失4千万円、経常損失2千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、2千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億1千4百万円減少し、29億3千7百万円となりました。これは主に棚卸資産が1億1千8百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2億6千万円、電子記録債権が3千1百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して3千3百万円減少し、14億3千4百万円となりました。これは主に買掛金が1千7百万円増加した一方で、長期借入金が4千7百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して8千万円減少し、15億3百万円となりました。これは主に配当金の支払額5千6百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失2千6百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2025年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,142,526	1,221,406
受取手形及び売掛金	451,348	191,242
電子記録債権	369,642	337,727
製品	20,670	40,026
仕掛品	158,105	264,793
原材料及び貯蔵品	67,862	60,487
その他	62,546	46,625
流動資産合計	2,272,702	2,162,309
固定資産		
有形固定資産		
土地	268,000	268,000
その他(純額)	297,428	284,643
有形固定資産合計	565,428	552,643
無形固定資産		
のれん	97,258	99,605
その他	4,051	3,379
無形固定資産合計	101,310	102,984
投資その他の資産		
その他	221,487	229,025
貸倒引当金	△108,197	△109,032
投資その他の資産合計	113,290	119,993
固定資産合計	780,029	775,621
資産合計	3,052,731	2,937,930
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,222	97,629
短期借入金	190,836	190,836
前受金	58,208	50,685
製品保証引当金	8,645	7,947
賞与引当金	19,336	8,610
その他	108,965	127,777
流動負債合計	466,213	483,485
固定負債		
長期借入金	910,375	862,666
退職給付に係る負債	20,167	20,651
その他	71,952	67,953
固定負債合計	1,002,494	951,270
負債合計	1,468,707	1,434,755

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	819,735	819,735
資本剰余金	427,554	427,554
利益剰余金	452,988	370,468
自己株式	△219,426	△219,435
株主資本合計	1,480,852	1,398,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,498	10,178
土地再評価差額金	93,430	93,430
その他の包括利益累計額合計	101,929	103,609
新株予約権	1,242	1,242
純資産合計	1,584,023	1,503,175
負債純資産合計	3,052,731	2,937,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	388,732
売上原価	271,816
売上総利益	116,916
販売費及び一般管理費	157,118
営業損失(△)	△40,202
営業外収益	
為替差益	2,093
受取保険金	6,188
助成金収入	4,081
その他	2,328
営業外収益合計	14,692
営業外費用	
支払利息	3,927
株式交付費	19
その他	394
営業外費用合計	4,342
経常損失(△)	△29,851
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,851
法人税、住民税及び事業税	2,912
法人税等調整額	△6,722
法人税等合計	△3,810
四半期純損失(△)	△26,041
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,041

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	
四半期純損失(△)	△26,041
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,680
その他の包括利益合計	1,680
四半期包括利益	△24,361
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,361

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	56,478	6.00	2025年 3月31日	2025年 6月27日

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「プラスチック成形機事業」は、インフレーション成形機、ブロー成形機、リサイクル装置の製造及び販売及び機器メンテナンスサービスを行っております。

「システム開発事業」は、コンピュータシステム受託開発及びSE人材派遣事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	プラスチック 成形機事業	システム 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	290,826	97,906	388,732	—	388,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	290,826	97,914	388,732	—	388,732
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△43,932	2,479	△41,453	1,251	△40,202

(注) 1. セグメント利益および損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及びセグメント間取引消去等によるものであります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当社グループは、単一の事業セグメントの売上高が、すべての事業セグメントの売上高の合計額の90%を超えるため記載を省略しておりましたが、それぞれの報告セグメントの量的重要性が増したため、報告セグメントを当第1四半期連結累計期間より「プラスチック成形機事業」及び「システム開発事業」に変更しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	14,893千円
のれんの償却額	2,748千円

(企業結合等関係)

2024年12月27日に行われた当社による株式会社クラウドサービスの取得について、当第1四半期連結累計期間において条件付取得対価の一部の支払が確定したことにより、支払対価を取得原価として取得時に発生したものとみなし、下記のとおり追加的にのれんを認識しました。

発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

1. 追加的に認識した取得原価(のれん認識額)

5,094千円

2. 追加的に認識したのれんの償却額

254千円

3. 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却します。

3. 補足事項

(1) 売上の状況

売上実績

当第1四半期連結累計期間における売上実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	セグメント名称
インフレーション成形機事業	162,563	プラスチック成形機事業
ブロー成形機事業	25,331	プラスチック成形機事業
リサイクル装置事業	3,394	プラスチック成形機事業
メンテナンス事業	99,537	プラスチック成形機事業
システム開発事業	97,906	システム開発事業
合 計	388,732	